

## 一般財団法人秋田県総合公社 令和8年度事業計画

### I 経営方針

令和8年度は、第3期経営計画（R6～R10）（以下、「第3期計画」と略す。）の3年度目として、6年度及び7年度の実績を踏まえ、計画期間10年度までの4つの将来像（「挑戦」「人材」「社会貢献」「協働」）の実現に向けて、以下の取組を積極的に推進してまいります。

公社の主要事業である施設管理運営事業において、令和7年度に申請した5箇所の県有施設については、引き続き指定管理者に指定され、令和8年度から新たな指定管理期間が開始となります。中央公園及び環境保全センターは指定期間が5年間から10年間に延長されたことから、長期的な視点に基づく施設管理運営を実施してまいります。また、総合プール、野球場、向浜運動広場、スケート場、武道館及び総合射撃場は、令和8年度から利用料金併用制に移行することになり、利用人数に加え、利用料金収入の確保が求められることとなりました。一方、県条例の改正を受けて、令和8年4月から新たな利用料金を設定することとし、中央公園では約10%、その他スポーツ施設では約15%の値上げを予定しております。改定された利用料金による収入の増加に加え、新たな自主事業の取組などにより、目標とする利用料金収入を確実に確保できるよう、さまざまな利用促進策に「挑戦」してまいります。なお、武道館は令和8年度より向浜スポーツゾーンの施設として包含されます。

物価の上昇、労働力不足と人件費の上昇など、施設の管理運営を取り巻く環境はさらに厳しさを増しております。キャッシュレス決済などのDX手法の導入、電力供給会社の切替による電気料金単価抑制の検討など、業務改善と支出の抑制につながる工夫やアイデアを具体化し、一層の経費の縮減に向けて、不断の取組を継続してまいります。令和7年度にはITベンダーによる伴走支援を得て業務の棚卸しを実施した上でDX推進計画を策定しました。令和8年度も引き続きITベンダーによる伴走支援により、公社ウェブサイトのリニューアルや中央公園の予約システムなどの優先対象業務のDX化を着実に進めてまいります。

あきた芸術劇場ミルハスは令和4年6月のオープン以来、令和9年度に初めての指定管理更新を迎えることとなります。あきた芸術劇場AAS共同事業体として、株式会社秋田魁新報社及び株式会社スペースプロジェクトとともに、これまでの管理運営実績や、設置者である秋田県・秋田市の文化振興施策等を踏まえた今後の取組方針を提示し、次期指定管理の指定を目指してまいります。

令和7年度から開始した第2期研修計画に基づき、研修成果をチームとして共有していくためのコーチング・フィードバック研修を引き続き実施するほか、自発的学びを促すeラーニングを活用して、「人財」の育成に努めてまいります。また、カスタマーハラスメント対応方針及び対応マニュアルを整備するとともに、カスタマーハラスメント対応研修を実施して、社員の就業環境の安全確保に努めてまいります。

全社員の基本給の引上げや期末手当支給対象者の拡大など、社員の処遇改善に加え、新たな項目を付加した次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画に基づき、社員の業務モチベーションと社員満足度の向上に取り組んでまいります。

令和8年度は、公社を取り巻く環境の変化に的確に対応しつつ、社員全員が目標達成に努める意識を共有することにより、第3期計画の3年度目として「10年後の将来像」の実現に向けて確実な一歩を踏み出してまいります。

## II 10年後の将来像に向けた取組

### 1. 「挑戦」

#### (1) あきた芸術劇場ミルハス 指定管理更新への対応

あきた芸術劇場ミルハスは、令和4年6月のオープン以来、県民や市民のさまざまな文化芸術活動の拠点として、また、質の高い芸術鑑賞やワークショップなど体験の場として、多くの方々に利用されてまいりました。令和8年度は指定管理の更新申請時期に当たりますので、公社では、引き続き指定管理者の指定を目指し、あきた芸術劇場AAS共同事業体による4年間の管理運営及び興行誘致の実績、さらにはプロモーターや芸術団体・商工団体等との広範で密接なネットワークをアピールしてまいります。



あきた芸術劇場ミルハス



ロビーコンサート

## (2) 指定管理施設の安全で効率的な管理

公社では、管理施設において引き続き安全で効率的な管理を推進してまいります。令和7年11月に新県立体育館の建設工事が本格的に開始されたことから、県立体育館では、設置者である県や工事業者との情報共有を図り、利用者への情報提供と安全の確保に努めてまいります。

### 1) D X手法の積極的な活用

従前の業務手続きをD X視点から見直すため、令和7年度に全部署・事務所を対象に「D X推進計画」を策定しました。令和8年度は各推進部署が計画に基づき、利用者サービスの向上とともに効率的な施設管理を行ってまいります。

#### ① 県立中央公園における施設予約システムの導入

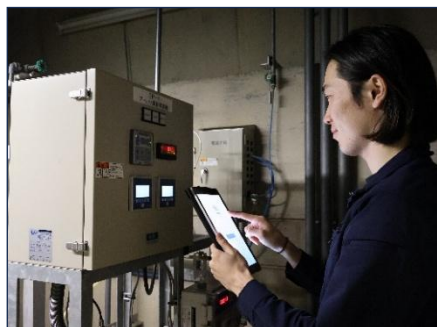
令和7年度に県立中央公園スポーツゾーンへの予約システムの導入に向けて、ベンダーとの打ち合わせやシステム仕様の比較検討を行いました。

同施設は、管理事務所から距離がある施設が多く、施設解錠・施錠業務に時間を要しており、業務効率化のため、※スマートロック機能の運用を見据えた施設予約システムを選定し、令和8年度内での稼働を目指してまいります。

※スマートロック：従来の物理的な鍵を使用せず、スマートフォンやICカード、指紋認証などのデバイスを使って解錠・施錠を行うシステム。鍵を持ち歩く必要がなくなり、紛失や盗難のリスクも軽減できる。

#### ② 施設管理における検針業務への業務効率化アプリの導入

各施設では電力や燃料などの使用量を適切に管理するため、毎日様々な設備の検針業務を行っています。これまでは紙に検針値を記録後、パソコンにデータを入力する二度手間が生じていました。令和8年度は、Wi-Fi環境下ではない各施設の機械室内でも利用できる業務効率化アプリを導入します。タブレットに入力した検針値をそのままデータ化することが可能となることから、業務の効率化とともに検針用紙のペーパーレス化も推進されます。



タブレットを活用した検針作業

### ③ 県立総合射撃場における施設利用受付バーコードの導入

狩猟技術訓練施設・ライフル射撃場はともに、特定の利用者が定期的に来場されることが多い施設であり、利用の都度、受付票を記入していただく必要がありました。その煩雑さの解消と社員による記入済み受付票の転記ミス削減を目的とした利用者別の受付バーコードを作成しました。

令和 8 年度から会員証として受付バーコードを貼付したカードを利用者へ配布し、来場時にバーコードを読み取ることで利用受付を行い、利用者の利便性向上と受付業務の効率化を図ります。



施設利用受付バーコード

### ④ ウェブフォームを活用した顧客満足度調査

これまで、公社が管理するスポーツ施設では、主に紙のアンケート用紙でお客様からご意見・ご要望をいただき、施設の管理運営に反映しておりましたが、お客様の利便性向上や集計作業の効率化を図るため、ウェブフォームを利用した顧客満足度調査を令和 8 年度から本格的に実施します。

### ⑤ 公社ウェブサイトのリニューアル

現在運用中の公社ウェブサイトは平成 28 年度にリニューアルされてから約 10 年が経過しています。近年はウェブサイトを開覧する媒体の主流がパソコンからスマートフォンへ変化しておりますので、令和 8 年度に公社管理施設（ミルハスを除く）のウェブサイトをスマートフォンで見やすい構成にリニューアルいたします。

## 2) エネルギー料金抑制への取組

公社では、電気や燃料のエネルギーの月別使用量をグラフにして可視化し、変動を的確に把握できるようにしております。引き続き、効率的なエネルギー利用を図るよう、全社員に省エネ意識を徹底してまいります。

また、現在の契約内容からより安価な契約種別への変更が可能か供給会社と協議を行うとともに、他の電力会社への変更など各施設にとって最適な契約方法を検討してまいります。

令和 9 年 4 月より向浜スポーツゾーン 5 施設は※「秋田臨海処理センターエネルギー供給拠点化事業」に基づき、現行より安価な再エネ電力の供給が開始される予定であり、これにより、さらなる電気料金の抑制が期待されます。令和 8 年度は 10 月のスケート場の切替予定をしており、順次他の対象施設の切替態勢を調整し、令和 8 年度末には、対象施設の切替を全て完了する予定です。

#### ※秋田臨海処理センターエネルギー供給拠点化事業

県が、国土交通省及び環境省の選定を受け、民間活力を導入して秋田臨海処理センター敷地内に再生可能エネルギー発電設備（消化ガス発電、太陽光発電、風力発電）等を導入し、令和9年4月から20年間にわたり、同センターを含む秋田市向浜地区の公共施設（スポーツ施設、研究施設、職業能力開発施設等）に電力を供給し、消費電力の脱炭素化と自立化を進める事業。

#### 3) クマ対策による利用者安全の確保

管理施設におけるクマ対策として、入口への進入防止措置や利用者への注意喚起に加え、講習受講者による「轟音玉」の使用による追い払い措置を講じるなど、施設利用者の安全確保に万全を期してまいります。



クマ対策(轟音玉)

#### (3) 利用料金収入等の確保に向けた取組

令和8年度より、県立体育館ほか6施設において「利用料金併用制」が導入されます。これにより、公社が独自に利用料金を設定し、県の承認を経て自らの収入として運営経費に充てることとなります。今後は、これまで以上に「稼ぐ」意識を醸成し、施設利用の促進や自主事業の積極的な展開を図るとともに、「事務所チャレンジ支援事業」を通じて新たな収益事業を模索するなど、収入基盤の強化・拡大に努めてまいります。

野球場においては令和7年度にスコアボード（盤面7.85m×34m）が改修され、うち選手名表示箇所（5.76m×10.24m）には動画も放映可能となりました。こけら落としのお披露目試合を開催するほか、動画放映等を活用して、利用者及び利用料金収入増となる企画・事業についても検討してまいります。

#### (4) 県総合保健センター管理業務等の継続受注

令和7年度は、県総合保健センターの建築設備の保守管理業務、空調設備・受変電設備・一般電気設備・中央監視装置の各保守点検業務委託についても更新期にあたり、公益財団法人秋田県総合保健事業団との協議、入札により令和8年度から令和12年度までの業務を引き続き受託いたしました。県立循環器・脳脊髄センターの施設管理業務とともに、これまで培ってきたノウハウを活用し、安全・安心で効率的な施設管理を図ってまいります。

## 2. 「人財」

### (1) 人材確保に向けた取組

最低賃金の大幅な引き上げに伴い、人件費の上昇が続き、従来の賃金水準での人材の確保や維持が困難な状況となっています。公社では、全社員の基本給の引上げや手当対象者の拡大などの処遇改善策を実施し、人材の定着・確保に努めております。また、令和7年度に策定した次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画に基づき、仕事と家庭の両立の環境整備に努めることなどにより、一層の人材確保に努めてまいります。

### (2) 社員の個別事情に配慮した勤務形態の調整

令和7年度に育児・介護休業法の施行に伴い、関連の社内規程を整備しました。令和8年度は、当該規程の周知に努め、育児や介護を理由とする離職の防止と社員のQOLの充実への支援を図ってまいります。

さらに、引き続き、秋田県版健康経営優良法人の認定を目指して、令和8年度においても更新申請をいたします。

### (3) 女性活躍支援

秋田市が実施しているキャリアデザインセミナーなど、女性向けキャリア啓発研修への女性社員の参加を促し、意欲と能力の向上を図り、女性社員の役付き職への登用等を促進してまいります。

## 3. 社会貢献

### (1) 事業活動を通じての社会貢献の取組

公社は、従来から公共施設の管理運営事業を通じて、社会貢献に寄与してまいりました。今後は、ウェブフォームを活用した利用者のアンケート調査方法を本格的に導入し、より多くの方々からの事業活動に関する社会貢献ニーズの把握にも努め、的確に事業へ反映してまいります。さらに、管理施設を活用した健康増進に関する教室の開催、地域のにぎわい創出イベントへの参画など、自主事業を通じた社会貢献に取り組んでまいります。

### (2) 協議会や業界イベントへの参加による社会貢献

中央公園では、周辺機関と「雄和椿川地区熊対策協議会」を組織しており、藪の刈払い作業など有効な熊対策活動を共同で実施し、利用者の安全の確保に努めてまいります。

環境保全センターでは、循環型社会の形成などの啓発を目的とした「あきたエコフェス」への出展などを通じ、産業廃棄物処理の意義や、維持管理しているビオトープの状況、公社の環境保全活動を県民に紹介して、環境意識の向上と社会貢献に取り組んでまいります。



「あきたエコフェス」

### (3) SDG s 活動の継続と進捗状況の把握

SDG s 活動に関しては、事業活動を通じた9項目の目標を定め、その進捗状況を把握し2030年までの目標達成に努めてまいります。SDG s 達成に向けた宣言書に掲げた3項目「健康を提供するための施設利用を促進する。」「有害物質の適切な処理・管理に努める。」「女性が活躍できる職場づくりに努める。」については、重点的に取り組んでまいります。

## 4. 協働

### (1) 利用団体との協働による広報や普及活動

施設を利用する競技団体や文化団体が会場予約をした際には、意向を確認した上で、開催情報などについて、公社ホームページやインスタグラムを通じて情報発信に努め、興味を持つ方々の来場を促すなどにより更なる利用促進を図ってまいります。また、会場利用や利用制限に関する情報については、利用団体や予約システム登録団体に対して、プッシュ型で提供し、利用機会の拡大と利用者サービスの向上に努めてまいります。

### (2) 各種団体との協働

公立美術大学附属高等学院の協力を得て創造されたスケート場オフィシャルキャラクター「かまくまくん」については、令和7年度に商品化を進め、手袋や縫いぐるみを製作し販売を開始しました。各種団体のイベント時などに、令和7年度に製作した着ぐるみを積極的に派遣させ、「かまくまくん」の知名度と認知度を高めるとともに、イベントの盛り上げに協力しながら、販売促進活動を実践してまいります。



「かまくまくん」PR活動風景

県立図書館のロビーを借用しての展示による公社活動の情報発信や、県立総合プールにおける移動図書コーナーの設置についても取組を継続し、引き続き図書館との連携・協働を進めてまいります。

### (3) 利用料金制導入を契機とした新たな協働と新分野への進出

令和8年度から建物内や駐車場のスペース利用について、新たな利用料金が設定されることになりました。駐車場に関しては、秋田市内の大規模イベント開催時に、サテライト駐車場としての利用要望や物販会場として利用されるよう関係団体に働きかけてまいります。

中央公園では秋田観光コンベンション協会が管理する売店施設について、利用者サービスの向上を図る観点から、公社として当該施設の活用について同協会の意向も確認しながら、事業化を検討してまいります。

また、夏季のスケート場については、大規模屋内イベントの会場としての利用が想定されることから、商工会議所加盟各社などへ展示会場などとしての利用促進を積極的に訴えてまいります。

野球場については、社員が阪神甲子園球場への派遣研修に参加した縁から、同球場を管理する阪神園芸株式会社より講師を招き、県内の球場管理者に芝生管理及びグラウンド整備の技術を伝える「グラウンド整備講習会」を開催いたします。こうした取組を通じ、「社会貢献」の観点からもスポーツ施設管理団体等との「協働」を進めてまいります。



あきた一献会(県立スケート場)

### (4) 秋田県レクリエーション協会との協働

秋田県レクリエーション協会とは、施設を活用した各種イベントで協働しています。公社管理施設において、同協会によるニュースポーツの体験イベントなどを通じ、スポーツ・レクリエーションの普及振興とともに協働による施設の利用促進を図ってまいります。



ニュースポーツ体験イベント

### Ⅲ 定時評議員会及び理事会

- 第1回理事会 令和8年5月  
定時評議員会 令和8年6月  
第2回理事会 令和9年3月

### Ⅳ 指定管理運営事業

#### 1. 指定管理施設一覧

区分	施設名称	指定管理期間
環境保全施設	県環境保全センター	令和8年4月1日 ～令和18年3月31日
スポーツ施設	県立体育館	令和8年4月1日 ～令和10年9月30日
	県立総合射撃場、県立スケート場、県立野球場、 県立向浜運動広場、県立総合プール、県立武道館	令和8年4月1日 ～令和13年3月31日
文化施設	あきた芸術劇場ミルハス	令和4年6月1日 ～令和9年3月31日
公園施設	県立中央公園	令和8年4月1日 ～令和18年3月31日

#### 2. 業務受託施設一覧

区分	施設名称
医療施設	県立循環器・脳脊髄センター、県総合保健センター
環境保全施設	旧能代産業廃棄物処理センター

### 3. 指定管理施設の利用目標

各施設で利用目標を設定し、広報や自主事業の展開及び積極的な利用促進を通じてその達成に努めてまいります。また、進捗状況については経営幹部会議にて定期的に報告・確認を行ってまいります。

#### (1) 利用人数等一覧

単位：秋田県環境保全センターのみ（t）・その他施設（人）

施設区分		目標値（人）		比較増減	
		令和7年度 （A）	令和8年度 （B）	実数 （B-A）	増減率 （%）
環境保全	県環境保全センター	35,000	ア 34,000	△1,000	△3%
文化	あきた芸術劇場ミルハス	350,000	350,000	0	0
スポーツ	県立体育館	48,500	イ 36,600	△11,900	△25%
	県立総合射撃場 （狩猟技術訓練施設）	1,150	1,150	0	0
	県立総合射撃場 （ライフル射撃場）	1,700	1,700	0	0
	向浜スポーツゾーン（①～⑤）	463,690	443,390	△20,300	△4%
	①県立スケート場	62,490	66,900	4,410	7%
	②県立野球場	70,450	ウ 89,400	18,950	27%
	③県立向浜運動広場	16,450	17,390	940	6%
	④県立総合プール	128,300	エ 109,700	△18,600	△14%
	⑤県立武道館	186,000	オ 160,000	△26,000	△14%
公園	県立中央公園	504,000	カ 680,000	176,000	35%
文化・スポーツ・公園 計		1,369,040	1,513,040	144,000	11%

#### 【利用人数等目標 特記事項】

- ア 県環境保全センター：県と協議して定めた数値（産業廃棄物の処分量（トン））
- イ 県立体育館：高橋優氏のコンサート、総合保健事業団の事業所健康診断、SJリーグ（バドミントン）が開催されないため
- ウ 県立野球場：プロ野球の開催回数が1試合増えため
- エ 県立総合プール：東北中学校総合体育大会が開催されないため
- オ 県立武道館：大会件数は同程度だが、規模（参加人数など）の縮小が見込まれるため
- カ 県立中央公園：通常来園者（散策やジョギングなどの利用）の増、ドックランや運動広場の利用者が増加しているため

## (2) 利用料金併用制導入施設の収入目標一覧

単位：(千円)

施設区分		目標金額 (千円)		比較増減	
		令和 6年度実績 (A)	令和 8年度 (B)	実数 (B-A)	増減率 (%)
文化	あきた芸術劇場ミルハス	131,116	133,118	2,002	2%
スポーツ	県立体育館	7,484	ア 7,136	△348	△5%
	県立総合射撃場 (狩猟技術訓練施設)	3,962	3,750	△212	△5%
	県立総合射撃場 (ライフル射撃場)	289	517	228	79%
	向浜スポーツゾーン (①～⑤)	70,659	84,420	13,761	19%
	①県立スケート場	28,596	34,222	5,626	20%
	②県立野球場	3,545	9,410	5,865	165%
	③県立向浜運動広場	1,768	イ 1,618	△150	△8%
	④県立総合プール	23,976	26,270	2,294	10%
	⑤県立武道館	12,774	ウ 12,900	126	1%
公園	県立中央公園	36,501	39,500	2,999	8%
文化・スポーツ・公園 計		250,011	268,441	18,430	7%

## 【利用収入目標 特記事項】

- ア 県立体育館 : SJリーグ (バドミントン) が開催されないため  
イ 県立向浜運動広場 : ナイター利用団体の減少が見込まれるため  
ウ 県立武道館 : 各種大会の利用者減に伴う利用会場の縮小、全国高等学校総合文化祭の開催に伴い一般利用が制限されるため

#### 4. 各事務所の第3期経営計画目標進捗状況

第3期計画の中で、5年間で達成する目標を設定した各事務所のビジョンあるいは活動方針の進捗状況を見える化するため、令和8年度分を取組及び数値目標を設定し、達成に向けて取り組んでまいります。

環境保全事務所		
ビジョンあるいは活動方針	具体的活動	令和8年度数値目標
<b>【SDGsの取組】</b> ビオトープの水質基準の徹底と施設見学者への活用。	①ビオトープの水質検査を月1回実施する。 ②ビオトープ敷地周辺の適正な維持管理に努める。 ③施設見学者への案内を積極的におこなう。 ④施設見学者へビオトープ生き物のチラシを配布する。	①水質基準厳守 BOD：<10mg/l COD：<20mg/l ③ビオトープ案内件数 5件
中央公園事務所		
ビジョンあるいは活動方針	具体的活動	令和8年度数値目標
<b>【施設の魅力アップと利便性の向上】</b> 施設の魅力アップと利便性の向上を図り、新たな利用層の開拓や平日利用の向上につなげ、利用者の増加と収益の確保を図る。	利用者から再開要望の多いスポーツゾーン売店を直営により開設する。	新規開設 7月
<b>【新規自主事業の企画】</b> 新たな自主事業を立ち上げることで、施設の魅力発信と地域の賑わい創出が図られるとともに、施設の活動が親子のふれあい交流の促進などの社会貢献活動として展開されている。	令和7年度に仮設供用したドッグランについて、利便性の向上を図り令和8年度も供用を継続し、利用者の意見を収集するなど、新規開設及び有料による供用に向けた可能性を調査する。	アンケート 80件 現地での意見聴取 20件

県立体育館事務所		
ビジョンあるいは活動方針	具体的活動	令和8年度数値目標
<b>【施設の利用促進】</b> コロナ禍・工事による長期休館前の利用者人数を上回ることができている	競技団体の他、秋田市内や近郊の大学・専門学校・高校・中学に施設案内等のチラシを配布し、施設案内等の情報を提供する。	チラシ配布目標 ・配布対象の拡大（大学、専門学校を追加） ・配布回数：年2回 利用人数目標 36,800人
総合射撃場事務所		
ビジョンあるいは活動方針	具体的活動	令和8年度数値目標
<b>【ビームライフル射撃の利用者拡大】</b>	企業（職場）及び地域での射撃チーム作り、あるいは学校単位による団体利用の促進などにより利用者数の安定、定着が図られている状態を目指す。	①学校単位での利用 3校 ②職場単位での利用 3チーム
あきた芸術劇場事務所		
ビジョンあるいは活動方針	具体的活動	令和8年度数値目標
<b>【人材育成、施設の利用促進および賑わい創出】</b> 令和9年度からの「あきた芸術劇場」の指定管理者に向けた準備を着実に進めるとともに、年間利用者数35万人を確保し、中心市街地の賑わいづくりに貢献する。	県・秋田市の次期指定管理者の応募条件を確認しながら、申請準備を進める。 大・中ホールの方別の予約状況や催事の種別を分析し、県内外のプロモーターやマスコミのほか、近隣の公立文化施設にも働きかけながら、集客力のあるイベントを招致、開催する。	年間利用者数 35万人
循環器・脳脊髄センター事務所		
ビジョンあるいは活動方針	具体的活動	令和8年度数値目標
<b>【社員の資質向上】</b> 社員の資質向上と資格取得へのサポート体制が構築されている。	OFF-JTや資格取得（特に第二種電気工事士）は年次計画を作成し、他の社員の協力や理解を得ながら、サポート体制を構築する。	新規資格取得者数2名

向浜スポーツゾーン総合事務所		
ビジョンあるいは活動方針	具体的活動	令和8年度数値目標
<p><b>【委託事業の直営化】</b> 業者委託していた芝管理業務が一部直営化されているとともに、向浜スポーツゾーン各施設の委託業務の見直し等により、更なる経費節減が図られている。</p>	<p>①芝管理に必要な機材のリース契約等による一部直営化を検討する。 ②向浜スポーツゾーン各施設の委託業務の集約化や、直営化を図る。 ③スポーツ施設や県外野球場施設の視察を行う。</p>	<p>②委託業務費 R7 契約額の10%削減 ③楽天モバイル最強パーク宮城（野球場）、埼玉アイスパリーナ（スケート場）</p>
<p><b>【必要資格保有者の確保と計画的な資格取得】</b> プール監視員、野球場施設管理員がスキルアップされている。</p>	<p>水泳指導員資格・芝管理資格等に関しては、人事異動や退職を考慮して必要な保有者数を確保するために、計画的な資格取得を促進する。</p>	<p>下記の資格保有者を維持する。 ①基礎水泳指導員5人 ②プール衛生管理者3人 ③日赤救助員3人 ④芝草管理者3人 ⑤緑の安全管理士3人</p>
<p><b>【予約システムによる業務の効率化】</b> (県立武道館)</p>	<p>利用未登録者への登録を促すことで受付業務の効率化と、利用者の利便性の向上を図る。</p>	<p>新規登録40団体 (令和7年度新規登録37団体)</p>
<p><b>【券売機の導入による円滑な受付対応】</b> (県立武道館)</p>	<p>券売機導入により、受付窓口業務における個人利用の料金徴収業務の簡素化と迅速な受付窓口業務の対応を図る。 また、料金徴収の時間及び自動計算により集計業務時間が短縮する。 券売機導入に伴う業務手順を見直し、業務効率化を図る。</p>	<p>受付窓口業務（集計作業、料金徴収、使用券管理）の効率化を図り、業務時間の10%改善を目指す。</p>

## V 事業の実施計画

### 1. 文化・スポーツ普及振興事業（公益目的支出計画に基づく事業として実施）

#### (1) 文化普及事業

主催施設	内容
県立武道館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創作和太鼓教室（基本講座 6月～7月）</li> <li>・ " （ステップアップ講座 9月～10月）</li> <li>・書道教室（11月～12月）</li> </ul>

#### (2) スポーツ普及振興事業

主催施設	内容
県立武道館	・[新]ノルディックスローウォーキング（5月～6月、9月～10月）
県立総合プール	・施設探検ツアー（令和9年1月）
県立スケート場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリスマスフェスティバル（12月）</li> <li>・バレンタインイベント（令和9年2月）</li> </ul>
県立中央公園	・県立中央公園冬まつり（令和9年1月）



書道教室



施設探検ツアー

### 2. スポーツ振興事業（公益目的支出計画に基づく事業として実施）

主催施設	内容
県立武道館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・剣道教室（通年）</li> <li>・初心者柔道教室（5月）</li> <li>・太極拳教室（6月～7月・9月～10月 年2期）</li> <li>・親子スポーツチャンバラ教室 （7月～8月・12月～令和9年1月 年2期）</li> <li>・県立武道館施設探検ツアー（9月）</li> <li>・初心者合気道教室（10月～11月）</li> <li>・第18回秋田県武道まつり（令和9年1月）</li> </ul>

### 3. 芸術文化発信事業

主 催 施 設	内 容
あきた芸術劇場 ミルハス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[新] 風間杜夫の落語会 in ミルハス (4月)</li> <li>・[新] 山形交響楽団特別公演 (12月)</li> <li>・[新] わらび座×明桜高校吹奏楽部 コラボレーション公演 (令和9年1月)</li> <li>・[新] 東京芸術劇場制作『リアルワールド』(令和9年3月)</li> <li>・子ども招待観劇事業 劇団四季：こころの劇場 (6月)</li> <li>日生劇場：ニッセイ名作シリーズ (9月)</li> <li>・あきた吹奏楽の日 大いなる秋田定期公演 (12月)</li> <li>・あきた民謡フェス vol.4 (令和9年2月)</li> </ul>

### 4. 収益事業

施設の特徴を活かし収益性を考慮した、付加価値の高いスポーツ教室・イベント等を開催し、スポーツ人口の増加や健康づくりの機会を提供します。

主 催 施 設	内 容
企画事業部 (会場：県立体育館)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キッズチャレンジスポーツ (11月)</li> </ul>
県立体育館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティブクラブ キッズ (通年)</li> <li>・         "                         ジュニア (通年)</li> <li>・ヨガ (通年)</li> <li>・貯筋クラブ (通年)</li> <li>・シニアからはじめるヒップホップ (通年)</li> <li>・シニアボクシングエクササイズ&amp;エアロ (通年)</li> <li>・ノルディックウォーキング (4月～11月 年8回)</li> <li>・陶芸教室 (6月)</li> <li>・フェイクスイーツ教室 (8月・12月)</li> <li>・坐禅会 (6月・10月)</li> </ul>
県立総合射撃場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春季 家族対抗ビームライフル射撃大会 (5月)</li> <li>・[新] ランキングマッチ (5月～7月、8月～10月)</li> <li>・チームで対抗！ビームライフル射撃大会 (7月)</li> <li>・秋季 家族対抗ビームライフル射撃大会 (11月)</li> <li>・[新] ファイナルランキングマッチ (11月)</li> </ul>

県立中央公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初夏の謎解き大冒険（5月）</li> <li>・秋の思い出づくり隊2026（10月）</li> <li>・蹴ったバイクレースIN中央公園（令和9年1月）</li> <li>・中央公園ハルノ市（令和9年3月）</li> </ul>
県立総合プール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キッズスイミング（通年 年3期）</li> <li>・ジュニアスイミング（通年 年3期）</li> <li>・レッドシャークス（上級ジュニアスイミング）（通年 年3期）</li> <li>・おとなのためのスイミング（通年 年3期）</li> <li>・[新]水中ウォーキング（5月～8月）</li> <li>・ベビースイミング（6月～9月）</li> <li>・親子deレスキュー～赤十字水上安全法を学ぼう～（7月）</li> <li>・キッズサマースイミング（7月～8月）</li> <li>・ジュニアサマースイミング（7月～8月）</li> <li>・長崎宏子のSWIM TO SMILE！（8月）</li> </ul>
県立スケート場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キッズスケート教室（11月～令和9年2月 2期）</li> <li>・ジュニアスケート教室（11月～令和9年2月 2期）</li> <li>・ステップアップスケート教室（11月～令和9年2月 2期）</li> <li>・放課後スケートクラブ（11月～令和9年2月 2期）</li> <li>・個人レッスン（11月～令和9年2月）</li> <li>・親子スケート教室（11月～令和9年1月）</li> <li>・冬休みスケート教室（12月～令和9年1月 2期）</li> <li>・スケート初心者教室（12月～令和9年2月）</li> </ul>
県立武道館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康応援教室（通年）</li> <li>・幼児教室（6月～10月 年2期）</li> <li>・ベビーマッサージ&amp;サイン教室（6月～10月 年2期）</li> <li>・やさしいフラで健康づくり（6月～10月 年2期）</li> </ul>
県立野球場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[新]スコアボードこけら落とし 記念招待試合（6月）</li> <li>・[新]グラウンド整備講習会（時期未定）</li> <li>・こまち杯争奪選抜軟式野球大会 一般の部（時期未定）</li> <li>・ 〃 学童の部（時期未定）</li> <li>・こまち球場 バッティングセンター（時期未定）</li> </ul>
県立向浜運動広場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・向浜テニス教室（4月～10月 年3期）</li> </ul>



シニアからはじめるヒップホップ(体育館)



チーム対抗! ビームライフル大会(ライフル射撃場)



秋の思い出つくり隊(県立中央公園)



ノルディックウォーキング(県立体育館)

## 5. 人財育成事業

第3期経営計画に掲げる「挑戦」「人財」「社会貢献」「協働」の将来像を実現していくため、第1期研修計画(R4~R6)の成果と課題を踏まえ、令和7年度から9年度の3年間で対象とした第2期研修計画を策定し実施しております。

令和8年度は、引き続きフィードバック面談・コーチング研修を開催します。令和7年度は部長・所属長級を受講対象としましたが、令和8年度は、主任・係長級を受講対象として開催し、各職場の組織力の向上を目指してまいります。各事務所のDX推進社員を対象として具体的な公社内各部署でのDX導入事例の報告会を開催し、DX手法の共有と推進人材の育成にも努めてまいります。

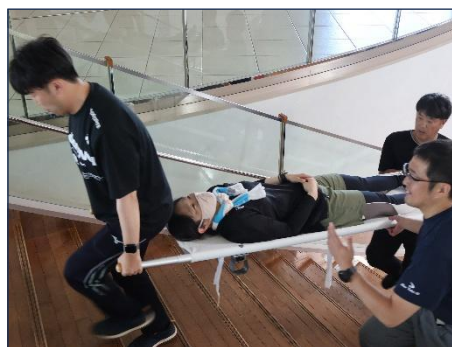
### 令和8年度の研修概要

研修区分	内 容
指定研修 (育成研修)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィードバック面談・コーチング研修(7月~11月)</li> </ul> 主任から管理者層を対象に、社員の自発的な活動と成長を支援するため、部下指導とコーチングのスキルを学び、組織力の向上を図る。 (全2回)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DX人材育成研修（9月） DX推進社員を対象として、具体的な導入事例の報告会を開催し、DX手法の共有と推進人材育成を図る。</li> <li>・無期転換社員研修（昇進時研修）（4月） 契約社員（有期雇用）から限定社員（無期雇用）に転換した社員の資質向上を図る。</li> <li>・コンプライアンス研修（4月） 令和7年度末現在の未受講者を対象として実施し、社員全体のコンプライアンス意識の徹底を図る。</li> </ul>
<p>選択研修 （自己啓発研修）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クレーム対応・カスタマーハラスメント対応研修（10月） クレーム対応・カスタマーハラスメント対応について職場の課題を持ち寄り具体的に学ぶ。</li> <li>・eラーニング（7月～12月） 全社員を対象に、自発的な学習を支援し、社員の資質向上を図る。</li> <li>・外部集合研修への派遣（4月～令和9年3月） 秋田商工会議所主催「凌雲塾」等の外部機関が主催する研修の受講を奨励し、社員の資質向上を図る。</li> <li>・普通救命講習・上級救命講習（5月、7月） 秋田消防署より講師を招き、AEDの使用方法等人命救助方法を学び、社員の緊急時対応能力の向上を図る。</li> </ul>



クレーム対応・カスハラ対応研修



上級救急救命講習

## 6. 連携・協働事業

### (1) 施設間連携事業

施設が連携し、多様なイベントを開催することにより、利用者の増加を図ります。

実施施設	内容
向浜スポーツゾーン (県立総合プール、県立野球場、 県立向浜運動広場、県立武道館) 秋田県立総合射撃場 (出前講習)	・向浜こどもスタンプラリー (5月) 向浜スポーツゾーンにある4施設と総合射撃場の連携型のスタンプラリーを開催し、ビームライフル射撃体験や武道体験など、こどもたちに様々なスポーツに触れる機会を提供する。
向浜スポーツゾーン (県立総合プール、県立野球場、 県立向浜運動広場、県立スケート場、 県立武道館)	・大規模イベントでの駐車場の融通 県立野球場や県立武道館でイベント開催時に施設駐車場の不足が見込まれる場合、向浜スポーツゾーンや県立武道館の駐車場を融通して相互利用する。
あきた芸術劇場ミルハス	・ミルハスフリー・オープン・デイ (5月) 秋田市中心市街地にある「秋田市にぎわい交流館Au」や「秋田市文化創造館」などの各施設と連携し、マルシェイベントなどを開催する。



向浜こどもスタンプラリー



ミルハスフリー・オープン・デイ

### (2) 企業・団体との連携・協働事業

企業、各種団体や地域団体に対して、社会貢献と企業等のイメージアップを図るため魅力ある連携・協働事業を提案してまいります。

特に県レクリエーション協会とは、向浜スポーツゾーンでの「向浜こどもスタンプラリー」をはじめ、県立中央公園における「秋の思い出づくり隊」や「中央公園冬まつり」、あきた芸術劇場での「こどもプレイルーム」などのイベントにおいて、連携・協働してまいります。

## 7. 社会貢献事業

公社では、各事務所において環境保全活動や地域清掃活動、地域行事への参加などを通じて、積極的に社会貢献に取り組んでまいります。また、研修や社内周知により社員1人ひとりの社会貢献への意識向上を図ります。

実施施設	内容
県環境保全センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビオトープの維持管理（通年） 生物環境の維持と保全に努め、環境保全センター内にあるD区処分場ビオトープにおいて、毎月水質調査を実施し、環境学習の視察等に役立てる。</li> <li>・あきたエコフェス（10月） 循環型社会への貢献と環境意識の向上を目的とした上記イベントに出展し、産業廃棄物の適正処理、ビオトープにおける生物・生態環境の維持活動などの環境保全業務への取組を紹介する。</li> <li>・秋田県産業資源循環協会（令和9年1月） 秋田県内の産業廃棄物事業者のための研修会に参加する。</li> <li>・市道（搬入道路沿線）および古種沢川のクリーンアップ活動 搬入道路沿線の環境美化を目的として、道路のクリーンアップを4月に2回、5月から10月にかけては毎月1回実施する。また、古種沢川のクリーンアップを4月に実施する。</li> </ul>
あきた芸術劇場 ミルハス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもプレイルーム（時期未定） 秋田市中心市街地を会場とした催事「広小路バザール」との連携事業として、県レクリエーション協会の協力を得て、子ども向けのゲームを実施する。</li> <li>・ロータスフェスティバル（時期未定）</li> </ul>
県立中央公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雄和椿川地区熊対策協議会 クマ対策活動として、地区の雑草や雑木の刈り払い、クマへの注意喚起看板の設置等を行う。また、啓発活動として「中央公園冬まつり」で活動パネルを紹介する。</li> <li>・ダリア倶楽部による中央花壇整備 公園の美観整備を目的に、地域住民やダリア愛好家と協働で中央花壇にダリアの球根の植え付け等を行う。</li> </ul>
向浜スポーツゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・向浜エリアのクリーンアップ活動 環境美化を目的に、秋田市向浜地区に所在する団体と共同で向浜エリアの「テクノリサーチゾーン」及び「向浜スポーツゾーン」のクリーンアップ活動を年3回実施する。</li> </ul>

県立野球場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[新]グラウンド整備講習会（時期未定）（再掲）</li> </ul> <p>当球場社員が阪神甲子園球場への派遣研修に参加した縁から、同球場を管理する阪神園芸株式会社より講師を招き、県内野球場従事者や野球部員、監督、コーチなどを対象に芝生管理及びグラウンド整備の技術を伝える「グラウンド整備講習会」を開催する。</p>
-------	--

## 8. 施設開放事業

会社が管理運営を行う各施設を気軽に楽しく利用していただくことを目的に、こどもの日、スポーツの日などの祝日やイベント開催時等に施設の開放事業を行います。

事業名	実施施設	内容
無料開放事業	県立総合プール 県立中央公園	こどもの日(5/5)、県の記念日(8/29)、スポーツの日(10/12)に施設無料開放を行い、親子や仲間であそびやすく施設を利用していただき、リピーター拡大の機会とする。
	県立武道館 県立総合射撃場 (ライフル棟のみ)	県の記念日(8/29)、スポーツの日(10/12)に施設無料開放を行い、親子や仲間であそびやすく施設を利用していただき、リピーター拡大の機会とする。
	県立スケート場	スケート場のオープン日に、小中学生の滑走料無料サービスを実施する。
一般開放事業	県立体育館	「スポーツを楽しむ日」を設け、原則として毎週火曜日と木曜日、個人利用者向けの施設開放を行う。(有料)
団体開放事業	県立野球場	公式戦以外での利用を希望する団体に対し、「県民開放日」(大会、イベント等が入っていない日)を設け、施設を開放する。(有料)
施設見学会事業	あきた芸術劇場 ミルハス	バックステージツアー(令和9年1月) 冬休みを利用し、家族連れなどを対象に、日頃見ることのできないステージ裏や楽屋の見学会を実施する。
	県立総合プール	施設探検ツアー(令和9年1月)(再掲)
	県立武道館	県立武道館施設探検ツアー(9月)(再掲)

## 9. 広報事業

各施設におけるスポーツ・レクリエーション、芸術文化等に関する取組内容を広報誌やウェブサイトへ掲載して情報発信に努めます。

各施設の広報担当社員と情報交換会を開催し、よりよい広報手段について話し合い、効果的な情報提供について検討いたします。さらに、新聞への寄稿やパブリシティなども活用して、積極的に情報発信してまいります。

広報の方法	内 容
広報誌等の発行	<p>スポーツ・レクリエーションの普及振興と施設の利用促進を図るため、広報誌「みんなのスポーツ&amp;カルチャー」を年2回（春・秋、各5,000部程度）発行する。全国健康保険協会秋田支部加入団体や県内の小・中・大学、主要公共施設等へ配布するとともに、ウェブサイト上でも公開する。</p> <p>公社の活動状況をまとめた四半期レポートを作成し、ホームページで公開するほか、県所管課などの関係者へ配布する。</p>
公社パンフレットのリニューアル	<p>令和4年度に作成した、施設紹介および公社活動内容紹介の両パンフレットについて、現状に即した内容にリニューアルする。</p>
ウェブサイト・SNSの運用	<p>公社ウェブサイトを通じて、施設の予約状況（貸館空き情報）や主催事業の案内、各施設へのアクセス等の情報を発信する。</p> <p>なお、閲覧媒体の主流がパソコンからスマートフォンへ移行している現状に対応し、現在公開中のウェブサイト（ミルハスを除く管理施設分）を全面的にリニューアルする。</p> <p>また、SNSを活用して主催事業の様子や施設周辺の景観などを紹介し、施設の魅力発信に努める。</p>
パブリシティの活用	<p>報道等で公社自主事業を取り上げてもらえるよう、県政記者クラブや秋田市企画財政部広報広聴課（広報あきた）に情報提供を行う。</p>
秋田魁新報への寄稿	<p>秋田魁新報の紙面に1ヵ月に1回（下半期は2ヵ月に1回）、公社が管理運営しているスポーツ施設運営の苦労話、裏話や自主事業の話題などを寄稿する。</p>
秋田ケーブルテレビ番組「し〜なチャン」への出演	<p>秋田拠点センターアルヴェ内スタジオで、平日に公開生放送されている「し〜なチャン」に社員が出演し、自主事業について広報する。</p>
公社ノベルティの作成・配布	<p>各施設で行っている顧客満足度調査（アンケート）に記入いただいた利用者へ、公社ロゴマーク入りのノベルティを配布し、公社の認知度向上を図る。</p>

## 10. その他関連事業

管理施設において、利用者サービスの向上を目的に、付加価値が高いサービスや商品販売などの事業を展開してまいります。

### (1) 事務所チャレンジ支援事業

令和6年度より開始した事務所チャレンジ支援事業制度を活用し、利用者サービスの向上に努めてまいります。

実施部署	内容
秋田県立総合プール	トレーニングルーム整備事業(令和6年度から継続事業) 施設内のトレーニングルームに公社が独自にトレーニング機器を整備し、有料で利用していただく事業。

### (2) 商品販売やサービス提供等の事業

実施施設・部署	内容
向浜スポーツゾーン総合事務所 運営本部事務局 企画事業部	県立スケート場公社オフィシャルキャラクター「かまくまくん」のグッズ販売活動を行う。
スポーツ施設	イベントにおけるにぎわい創出としての綿あめやポップコーンの販売活動を行う。
スポーツ・文化・公園施設 運営本部事務局 企画事業部	管理施設内での飲料水等自動販売機を設置する。 公社が所有するポップコーン機の貸出を行う。
向浜スポーツゾーン総合事務所	県立スケート場内における「喫茶ホール」の営業活動を行う。
循環器・脳脊髄センター事務所	県立循環器・脳脊髄センター内における「洗濯機」と「乾燥機」を設置する。